
山梨大学教育学部附属教育実践総合センター

センターだより第184号(通巻第251号)

2020年4月30日 発行
山梨大学教育学部
附属教育実践総合センター
TEL 055-220-8325, FAX 055-220-8790
E-mail: jissen@ml.yamanashi.ac.jp
URL: <http://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/>

■令和2年度のセンター活動が始まりました

附属教育実践総合センター長 田中 勝

令和2年度がスタートしました。実践センターの組織・体制は令和元年度と変わりませんが、スタッフの一部に異動がありました。3月31日付けで渡井渡特任教授、氏原一宏客員教授、望月栄一客員教授、猪股真弥准教授が退職されました。事務関係では教職支援室の小林麻衣子係長が配置換えとなりました。今号では、後任として4月1日付けで着任された6名の方々（青柳達也特任教授、數野保秋客員教授、中込和彦客員教授、蘆原桂客員教授、中込繁樹准教授、保泉亜衣氏）の方々からご挨拶をいただきます。全員で心をつなげて、教育学部附属施設としての役割を果たしていきたいと思っております。

心配なのは新型コロナウイルスの感染拡大です。これを受けて山梨大学の前期授業開始は5月7日からとする学年歴に変更となり、年度始めの各種ガイダンス等も中止の措置がとられました。間もなく始まる授業は感染拡大を防ぐためにオンライン授業を原則とし、教職員はその準備に追われています。先が見通せないなか、健康や安全・安心確保の観点から、3年生対象の前期教育実習や全学年対象の前期教育ボランティア活動は中止となりました。附属学校園においても年度始めの学事が変更となり、臨時休業期間が延長されました。

1年前の5月1日、元号が平成から令和となり、社会は祝福ムードに包まれていました。希望や期待を胸に新しい時代を迎えられた方も多いと思いますが、状況は一変してしまいました。新型コロナウイルスの国内での累計感染者数は13,424人、累計死亡者数は372人を超え(4/27現在)、当たり前の日常がどこかへ行ってしまいました。実践センターの各種事業もこうした影響を受け、5月下旬開催予定であった「期間採用者等研修」は中止しました。教育相談室による対面でのカウンセリングも緊急事態宣言中は中止しています。教育学部学生を対象とした「教育ボランティア」活動も例年は5月には活動が始まっていますが、児童・生徒・活動学生等の健康や安全・安心確保を最優先に考え、前期活動中止を決定したところです。教職支援部門学生カルテ・分析領域で開発した「教職キャリア・ポートフォリオ・システム」の運用開始や山梨大学教師塾プログラムの一環として作成した「ACTION PLAN」ファイルの配付等も保留となっています。7月から8月にかけて実施される教員採用試験の対策として、教職支援室では感染拡大防止に細心の注意を払いながら個別指導等を継続しているところですが、今後は状況の推移を見ながら適切な対応を検討したいと考えています。

現在は、こうした不安定な状況下にありますが、センター各種事業が当初予定どおりに進められるよう努力していきたいと思っておりますので、関係の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■着任の御挨拶

教員養成推進部門・附属学校園共同研究部門 特任教授 青柳 達也

この度、教育実践総合センターの特任教授として、お世話になります青柳達也です。私は3月まで、山梨県教育委員会に勤務しておりました。

また、かつては附属中学校や附属支援学校に勤務させていただきました。今年度、新たに山梨大学の一員として、教員養成と附属学校園の共同研究の推進に、精一杯務めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

教育実践研究部門（兼 教職大学院・准教授） 中込 繁樹

人事交流により、本年度から附属教育実践総合センター協力員としてお世話になることになりました中込繁樹と申します。実務家教員の一人として学校現場での経験を生かして、当センターの役割を果たせるよう、微力ながら誠心誠意尽力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授） 数野 保秋

4月よりお世話になることになりました数野保秋と申します。令和元年度末をもって甲府市立北中学校を定年退職しました。これまでの学校現場や行政等での経験を活かし、少しでも学生の皆さんのお役に立つことができると考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授） 中込 和彦

4月よりお世話になっております中込和彦です。南アルプス市立櫛形中学校での勤務を最後に、令和元年度末をもって定年退職しました。『学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない』の思いを胸に、学校現場で経験したことや得た知識を皆さんにお伝えする中で、私自信も進化していきたいと思います。微力ではありますが、どうぞよろしくお願いいたします。

教育実践研究部門（兼 教職大学院 客員教授） 菰原 桂

本年度、4月よりお世話になっております菰原桂（はぎはらかつら）と申します。令和元年度末、甲府市立国母小学校を定年退職しました。これまでの学校現場や教育行政等での経験を活かし、少しでもお役に立つことができると考えております。どうかよろしくお願いいたします。

教育学域支援課教務グループ 保泉 亜衣

4月より教育学域支援課教務グループへ異動となり教職支援室担当となりました保泉亜衣です。教務関係の仕事は初めてですが、少しでもお力になれるようがんばります。

どうぞよろしくお願いいたします。

これまでのセンターだよりの一部は、 <http://www.edu.yamanashi.ac.jp/aepc/> で見るすることができます。